

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 470		
事務事業名称		生涯学習市民センター活動委員会事業										
担当部署(R7年度機構)		部: 観光にぎわい部		課: 文化生涯学習課		区分		任意的事業				
基本項目	総合計画	基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち		細区分		任意的区分		
		施策目標				17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち		性質		文化・スポーツ		
	市長公約との関係性		所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	事業期間		事業開始: 2007(H19)年度				～		事業終了予定: 未定(継続実施含む)			
	根拠法令等		決裁									
	関係附属機関等		該当なし									
	関係補助金等		該当なし									
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態		市民とセンター職員が連携・協力して地域の特色を活かした生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。									
	対象者(受益者)		生涯学習を行いたい市民									
	現状・課題		市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。									
	事業の概要		市民とセンター職員で構成する活動委員会を、平成19年度から楠葉・さだ・御殿山・牧野・津田・菅原の各センターに、平成20年度からは南部生涯学習市民センターにも設置。地域の特色を生かした市民対象事業を実施してきた。活動委員会の構成は、市民からは①利用団体関係者、②地域活動に意欲のある者、③事業に関心のある者、④センター職員として。指定管理者制度を導入している6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・さだ・牧野)においては、指定管理者から負担金20万円を支出し、活動委員として2名参加している。									
年間の主な事務		収支報告書の確認・年度協定書の締結(年度当初)、活動委員会意見交換会の開催(年1回)										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)						
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		0.60人	—	—	—
	再任用		0.70人	—	—	—
	任期付職員		0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—
	附属機関委員		0.00人	—	—	—

決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	8,342	—	—	—	—	—
			会計年度任用職員	0	—	—	—	—	—
			特別職非常勤	0	—	—	—	—	—
			附属機関委員	0	—	—	—	—	—
	人件費計		8,342	—	—	—	—	—	
	物件費計		200	—	—	—	200	100.0%	
	歳出計		8,542	—	—	—	—	—	
	歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。
		府支出金		0	—	—	—	0	
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0			
市債		0	—	—	—	0			
その他		0	—	—	—	0			
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	—	—	—	0	—		
一般財源(物件費充当のみ)		200	—	—	—	200	—		

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 活動委員会事業の件数	件	85 件	一件	一件	一件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロジックモデル	アウトプット①	説明	事業に市民が参加する。				アウトカム①	説明	市民の生涯学習活動が推進される。					
		指標	活動委員会事業の参加者延べ人数					指標	事業への参加率					
			R6	R7	R8	R9		単位	R6	R7	R8	R9	単位	
		目標	15,000	15,000	15,000	15,000		人	目標	80	80	80	80	%
		実績	18,432	—	—	—		人	実績	94.9	—	—	—	%
算出方法	活動委員会事業の参加者延べ人数の計測					算出方法	参加者人数/募集人数×100							

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

人口減少社会において、活動委員会事業の参加者及び、事業の参加率が維持されること。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民大学・子ども大学探検隊ともに、昨年度に引き続き5大学すべてで実施することができた。子ども大学探検隊の参加者数が目標に及ばなかったものの、市民大学では目標以上の参加者があり、また、両事業とも高い満足度を得られた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	今後も、各地域の特性を活かした事業や、市民の学びのきっかけとなるような事業に取り組んでいく。	R7年度方向性	現状維持
----------	--	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 471	
事務事業名称		生涯学習事業									
担当部署(R7年度機構)		部:	観光にぎわい部	課:	文化生涯学習課	区分	任意的事業				
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分			
		施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ			
	市長公約との関係性	所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始： 2005(H17)年度 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則及び決裁									
	関係附属機関等	枚方市生涯学習推進審議会									
	関係補助金等	該当なし 補助金性質： —									
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。								
	対象者(受益者)		生涯学習事業に興味のある市民。								
	現状・課題		市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある								
	事業の概要		<input type="checkbox"/> 「なんでも、どこでも出前塾」実施事業 各施策担当課職員が市民団体に出向き、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HPで発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。 <input type="checkbox"/> 人形劇関連事業 市内の子どもたちに、夢のある良質な人形劇を身近に楽しんでもらうことを目的に、サンサン人形劇を開催するとともに、市民が結成する人形劇団の演者を育成する人形劇初級講座・人形劇中級講座を開催している。 <input type="checkbox"/> 枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。 <input type="checkbox"/> 朝鮮語教室 朝鮮語の学習を通じて、わが国の隣国である朝鮮半島の歴史、文化、風俗、習慣、生活、儀礼を理解し、同じ地域社会の構成員としての交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流の推進を図るため、教育委員会からの補助執行で実施している。								
年間の主な事務		<input type="checkbox"/> 「なんでも、どこでも出前塾」実施事業 年度当初のリーフレット作成、通年の申請手続きに係る調整業務 <input type="checkbox"/> 人形劇関連事業 サンサン人形劇の開催業務(周知、リハーサル・当日の運営、受付)、人形劇連絡会との調整等 <input type="checkbox"/> 枚方市生涯学習推進審議会運営事務 年1回開催する審議会及び本審議会開催にかかる庁内委員会等運営業務 <input type="checkbox"/> 朝鮮語教室 募集、教室運営(会場準備、受付、資料配付)等の業務									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)					
人員体制	(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		3.48人	—	—
再任用		1.85人	—	—	—
任期付職員		0.00人	—	—	—
会計年度任用職員		0.87人	—	—	—
特別職非常勤		0.00人	—	—	—
附属機関委員		8.00人	—	—	—

		(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
決算額	歳出	内訳						
		正職員、再任用、任期付職員	36,609	—	—	—		
		会計年度任用職員	3,441	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	76	—	—	—		
	人件費計	40,126	—	—	—			
	物件費計	150	—	—	—	520	28.8%	
	歳出計	40,276	—	—	—			
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0	
		府支出金	0	—	—	—	0	
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0		
市債		0	—	—	—	0		
その他		0	—	—	—	5		
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	—	—	—	5		
一般財源(物件費充当分のみ)	150	—	—	—	515			

(留意事項)
 ※正職員・再任用・任期付の
 人件費は、人員配置を
 もとに平均人件費を乗算
 しています。
 ※「歳入」欄には物件費に
 充当されるもののみ記載
 されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 生涯学習事業を実施する。	回	187回	一回	一回	一回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル	説明	各種事業に市民が参加する。					
		生涯学習事業の参加者数					
アウトプット①	指標	R6	R7	R8	R9	単位	
		目標	3,800	3,800	3,800	3,800	人
		実績	3,817	—	—	—	人
算出方法		生涯学習事業参加者数の計測					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

説明	市民の生涯学習活動が推進される。						
	満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)						
アウトカム①	指標	R6	R7	R8	R9	単位	
		目標	80	80	80	80	%
		実績	88	—	—	—	%
算出方法		【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】項目: 「満足」「普通」「概ね満足」「やや不満」「不満」					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

人口減少社会において、生涯学習事業の参加者数及び、生涯学習施策推進アンケートの満足度の割合が維持されること。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民大学・子ども大学探検隊ともに、昨年度に引き続き5大学すべてで実施することができた。 子ども大学探検隊の参加者数が目標に及ばなかったものの、市民大学では目標以上の参加者があり、また、両事業とも高い満足度を得られた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度 取組方針	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。 生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について意見を求めるとともに、生涯学習推進基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。	R7年度 方向性	現状維持
--------------	--	-------------	------

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
	現状維持	現状維持	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報		調査番号 511						
事務事業名称		総合文化芸術センター維持管理運営業務						
担当部署(R7年度機構)		部:	観光にぎわい部	課:	文化生涯学習課	区分	持続的事业	
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			細区分	維持管理区分	
		施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始: R3年度(2021年度) ~ 事業終了予定: 未定(継続実施)						
	根拠法令等	枚方市総合文化芸術センター条例、枚方市総合文化芸術センター条例施行規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし 補助金性質: —						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	総合文化芸術センターの利用者が安全に施設を利用できるよう、適切に施設の維持管理運営を行うことにより、文化芸術活動が活性化される。						
	対象者(受益者)	総合文化芸術センターの利用者						
	現状・課題	本市の新たな文化芸術の拠点施設として、すべての利用者にとって使用しやすい施設運営を目指すとともに、集客と賑わいを創出し、地域や事業者と連携した広域な取り組みを実施していく必要がある。						
	事業の概要	指定管理者制度を導入し、多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供、創造及び普及活動並びに文化芸術の振興を支える人材を育成、本市の文化芸術の振興を図るとともに一人の交流の促進や都市の魅力向上に寄与する拠点として、総合文化芸術センターを運営するし、利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、適切に維持管理を行う。 指定管理者制度を導入し、令和7年度から令和11年度まで引き続きアートシティひらかた共同事業体(代表団体:サントリーパブリシティサービス㈱)が指定管理者として施設の管理・運営を行う。						
年間の主な事務	<input type="checkbox"/> 総合文化芸術センターの管理運営(通年) 総合文化芸術センターでの自主事業等について、事業企画書に基づき内容を確認する業務 <input type="checkbox"/> 総合文化芸術センター施設維持管理(通年) 指定管理者から提出される月次報告及び年2回実施するモニタリングにおいての実施内容の確認							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)						
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		1.66人	—	—	—
	再任用		0.00人	—	—	—
	任期付職員		0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—
	附属機関委員		0.00人	—	—	—

		(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
決算額	歳出	内訳						
		正職員、再任用、任期付職員	12,762	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
	附属機関委員	0	—	—	—			
	人件費計	12,762	—	—	—			
物件費計	616,330	—	—	—	645,983	95.4%		
歳出計	629,092	—	—	—				
歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0		
	府支出金	0	—	—	—	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	140,204	—	—	—	113,824		
	市債	0	—	—	—	0		
	その他	18,260	—	—	—	18,260		
歳入計(物件費に充当される特定財源)	158,464	—	—	—	132,084			
一般財源(物件費充当分のみ)	457,866	—	—	—	513,899			

(留意事項)
 ※正職員・再任用・任期付の人員費は、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 実施事業数	本	83 本	— 本	— 本	— 本
② 維持管理を行っている施設数	箇所	2 箇所	— 箇所	— 箇所	— 箇所

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

		アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)						
ロジックモデル	アウトプット①	説明	総合文化芸術センターが利用される					アウトカム①	説明	文化芸術活動が活性化される				
		指標	主要施設の利用状況 (大・小・イベントホールと美術ギャラリーの利用率)						指標	満足度の割合(利用者アンケートより)				
		目標	R6	R7	R8	R9	単位		目標	R6	R7	R8	R9	単位
		実績	83.1	—	—	—	%		実績	94.8	—	—	—	%
	算出方法	—						算出方法	【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 項目: 「満足」「普通」「概ね満足」「やや不満」「不満」					
ロジックモデル	アウトプット②	説明	年2回行うモニタリング評価内の施設維持管理にかかる評価					アウトカム②	説明	—				
		指標	モニタリング評価内の施設維持管理にかかる評価の平均点						指標	—				
		目標	R6	R7	R8	R9	単位		目標	R6	R7	R8	R9	単位
		実績	3	—	—	—	—		実績	—	—	—	—	—
	算出方法	モニタリング評価内の施設維持管理にかかる評価の平均をとる						算出方法	—					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

人口減少社会において、総合文化芸術センターの利用率及び、利用者アンケートの満足度の割合が維持されること。
年2回実施する施設維持管理にかかるモニタリング評価を維持すること。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民大学・子ども大学探検隊ともに、昨年度に引き続き5大学すべてで実施することができた。 子ども大学探検隊の参加者数が目標に及ばなかったものの、市民大学では目標以上の参加者があり、また、両事業とも高い満足度を得られた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めていく。	R7年度方向性	現状維持
----------	--	---------	------

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
	現状維持	現状維持	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 544	
事務事業名称		学園都市ひらかた推進協議会事業(文化生涯学習課)									
担当部署(R7年度機構)		部:	観光にぎわい部	課:	文化生涯学習課	区分	任意的事業				
基本項目	総合計画	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち				細区分	任意的区分			
		施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち				性質	文化・スポーツ			
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始： 2005(H17)年度				～	事業終了予定： 未定(継続実施含む)				
	根拠法令等	決裁									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし									補助金性質： —
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	市内5大学との連携・協力により特色ある各大学の専門的な知識・情報を生かして学習できる講座を市民に提供することで、多様化・高度化する市民の学習意欲に応えることができているとともに、それが生涯学習の推進・生きがいの増進につながっている。									
	対象者(受益者)	生涯学習を行いたい市民									
	現状・課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。									
	事業の概要	学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市民向け講座「ひらかた市民大学」「子ども大学探検隊」を開催。「ひらかた市民大学」については専門的な知識・情報を提供する講座を市内5大学においてそれぞれ1講座実施する。「子ども大学探検隊」については学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市内大学の施設・設備やクラブ活動等への参加体験をする「子ども大学探検隊」事業を実施する。小学生(高学年)対象。市内5大学のうち毎年希望する大学において実施。									
年間の主な事務	市内5大学と「ひらかた市民大学」「子ども大学探検隊」の日程調整等を行い、各開催講座の募集及び運営補助業務を行う。										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)						
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		0.57人	—	—	—
	再任用		0.00人	—	—	—
	任期付職員		0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—
	附属機関委員		0.00人	—	—	—

決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	4,382	—	—	—	—	—
			会計年度任用職員	0	—	—	—	—	—
			特別職非常勤	0	—	—	—	—	—
			附属機関委員	0	—	—	—	—	—
			人件費計	4,382	—	—	—	—	
			物件費計	0	—	—	0	0.0%	
			歳出計	4,382	—	—	—	—	
	歳入		国庫支出金	0	—	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。
			府支出金	0	—	—	—	0	
		受益者負担(使用料・手数料)	0	—	—	—	0		
		市債	0	—	—	—	0		
		その他	0	—	—	—	0		
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	—	—	—	0		
		一般財源(物件費充当のみ)	0	—	—	—	0		

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 「ひらかた市民大学」の開催	件	5 件	— 件	— 件	— 件
② 「子ども大学探検隊」の開催	件	5 件	— 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)		直接アウトカム(結果による変化・便益)																																				
ロジックモデル	アウトプット① 説明 「ひらかた市民大学」事業に市民が参加する。 「ひらかた市民大学」の参加者数 指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>269</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法 「ひらかた市民大学」の参加者数の計測		R6	R7	R8	R9	単位	目標	200	200	200	200	人	実績	269	—	—	—	人	アウトカム① 説明 生涯学習の推進・生きがいの増進につながる。 満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>98</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法 「満足」「やや満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100 項目:「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の項目で「満足」「やや満足」		R6	R7	R8	R9	単位	目標	80	80	80	80	%	実績	98	—	—	—	%
		R6	R7	R8	R9	単位																																
目標	200	200	200	200	人																																	
実績	269	—	—	—	人																																	
	R6	R7	R8	R9	単位																																	
目標	80	80	80	80	%																																	
実績	98	—	—	—	%																																	
ロジックモデル	アウトプット② 説明 「子ども大学探検隊」事業に子どもが参加する。 「子ども大学探検隊」の参加者数 指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>217</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法 「子ども大学探検隊」の参加者数		R6	R7	R8	R9	単位	目標	250	250	250	250	人	実績	217	—	—	—	人	アウトカム② 説明 生涯学習の推進・生きがいの増進につながる。 満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>100</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法 「満足」「やや満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100 項目:「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の項目で「満足」「やや満足」		R6	R7	R8	R9	単位	目標	80	80	80	80	%	実績	100	—	—	—	%
		R6	R7	R8	R9	単位																																
目標	250	250	250	250	人																																	
実績	217	—	—	—	人																																	
	R6	R7	R8	R9	単位																																	
目標	80	80	80	80	%																																	
実績	100	—	—	—	%																																	

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

人口減少社会において、「ひらかた市民大学」と「子ども大学探検隊」の参加者数及び、各アンケートの満足度の割合が維持されること。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民大学・子ども大学探検隊ともに、昨年度に引き続き5大学すべてで実施することができた。 子ども大学探検隊の参加者数が目標に及ばなかったものの、市民大学では目標以上の参加者があり、また、両事業とも高い満足度を得られた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	より多くの市民が参加できるよう、各大学の特徴を活かした事業展開を行い、市民と大学との距離を縮め、街の魅力として発信していく。	R7年度方向性	現状維持
----------	--	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報		調査番号 710						
事務事業名称		生涯学習市民センター維持管理運営事業						
担当部署(R7年度機構)		部:	観光にぎわい部	課:	文化生涯学習課	区分	任意的事業	
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち			細区分	任意的区分	
		施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			性質	文化・スポーツ	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始: 2006(H18)年度 ~ 事業終了予定: 未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則及び決裁、建築基準法、消防法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、電気事業法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし 補助金性質: —						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。生涯学習施設の利用者が、安全・快適に利用ができています。						
	対象者(受益者)	生涯学習市民センター利用者						
	現状・課題	市民が学ぶ場、その成果を活用する場、つながりの場の環境を整える必要がある。生涯学習施設の利用者が、安全で快適に利用できるように施設設備の修繕や保守点検を実施する必要がある。						
	事業の概要	<input type="checkbox"/> 生涯学習施設の運営 生涯学習市民センターの利用運営を行い、様々な生涯学習事業を実施している。 <input type="checkbox"/> 生涯学習施設管理 市内の生涯学習市民センター施設の清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の保守点検、夜間・休日の警備等の委託。施設の老朽化等に伴う修繕改修等の実施。 ・楠葉生涯学習市民センター(枚方市楠葉並木) / サンプラザ生涯学習市民センター(枚方市岡東町)※令和6年8月31日閉館 / さだ生涯学習市民センター(枚方市北中振) / 御殿山生涯学習美術センター(枚方市御殿山町) / 牧野生涯学習市民センター(枚方市宇山町)、牧野生涯学習市民センター牧野北分館(枚方市牧野北町) / 津田生涯学習市民センター(枚方市津田北町) / 菅原生涯学習市民センター(枚方市長尾元町) / 南部生涯学習市民センター(枚方市香里ヶ丘) / 生涯学習情報プラザ(枚方市車塚) / 生涯学習交流センター(枚方市岡東町)※令和6年9月17日開館						
年間の主な事務	<input type="checkbox"/> 生涯学習施設の運営・管理 指定管理館においては、各生涯学習市民センターを活用して行う自主事業等について、事業企画書に基づき内容を確認等を行う業務(通年)、事業計画書に基づきモニタリングを行う業務(年2回)。 直営館においては、自主事業の実施及び諸室等の貸出業務ならびに建物・設備等の維持管理業務を実施。							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)									
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績			
	正職員		2.58人	—	—	—			
	再任用		0.45人	—	—	—			
	任期付職員		0.00人	—	—	—			
	会計年度任用職員		3.95人	—	—	—			
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—			
	附属機関委員		0.00人	—	—	—			
決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	22,232	—	—	—		
		会計年度任用職員	12,086	—	—	—			
		特別職非常勤	0	—	—	—			
		附属機関委員	0	—	—	—			
		人件費計	34,318	—	—	—			
	物件費計	707,420	—	—	—	775,212	91.3%		
	歳出計	741,738	—	—	—				
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0		
		府支出金	0	—	—	—	0		
受益者負担(使用料・手数料)		44,749	—	—	—	50,766			
市債		68,000	—	—	—	99,300			
その他		10,984	—	—	—	16,456			
歳入計(物件費に充当される特定財源)	123,733	—	—	—	166,522				
一般財源(物件費充当分のみ)	583,687	—	—	—	608,690				

(留意事項)
 ※正職員・再任用・任期付の人員費は、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 各施設で行っている生涯学習事業数	件	162 件	— 件	— 件	— 件
② 維持管理を行っている施設数	箇所	10 箇所	— 箇所	— 箇所	— 箇所

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)		直接アウトカム(結果による変化・便益)																																				
ロジックモデル	アウトプット① 説明: 各種事業に市民が参加する。 生涯学習事業の参加者数 指標表: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>4,900</td> <td>4,900</td> <td>4,900</td> <td>4,900</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>8,929</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: 生涯学習事業の参加者数の計測		R6	R7	R8	R9	単位	目標	4,900	4,900	4,900	4,900	人	実績	8,929	—	—	—	人	アウトカム① 説明: 市民の生涯学習活動が推進される。 満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより) 指標表: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>88</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: 【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100】 項目: 「満足」「普通」「概ね満足」「やや不満」「不満」		R6	R7	R8	R9	単位	目標	80	80	80	80	%	実績	88	—	—	—	%
		R6	R7	R8	R9	単位																																
	目標	4,900	4,900	4,900	4,900	人																																
	実績	8,929	—	—	—	人																																
	R6	R7	R8	R9	単位																																	
目標	80	80	80	80	%																																	
実績	88	—	—	—	%																																	
ロジックモデル	アウトプット② 説明: 指定管理施設において年2回各施設毎に行うモニタリング評価内の施設維持管理にかかる評価 各施設のモニタリング評価内の施設維持管理にかかる評価の平均点 指標表: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: 各施設のモニタリング評価内の施設維持管理にかかる評価の平均をとる		R6	R7	R8	R9	単位	目標	3	3	3	3	—	実績	3	—	—	—	—	アウトカム② 説明: — 指標表: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: —		R6	R7	R8	R9	単位	目標	—	—	—	—	—	実績	—	—	—	—	—
		R6	R7	R8	R9	単位																																
	目標	3	3	3	3	—																																
	実績	3	—	—	—	—																																
	R6	R7	R8	R9	単位																																	
目標	—	—	—	—	—																																	
実績	—	—	—	—	—																																	
ロジックモデル	アウトプット③ 説明: 直営施設において行う保守点検予定回数と実績回数の割合 直営施設において行う保守点検予定回数と実績回数の割合 指標表: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>27</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: 予定回数における実績回数の割合を算出		R6	R7	R8	R9	単位	目標	27	29	27	27	%	実績	27	—	—	—	%	アウトカム③ 説明: — 指標表: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 算出方法: —		R6	R7	R8	R9	単位	目標	—	—	—	—	—	実績	—	—	—	—	—
		R6	R7	R8	R9	単位																																
	目標	27	29	27	27	%																																
	実績	27	—	—	—	%																																
	R6	R7	R8	R9	単位																																	
目標	—	—	—	—	—																																	
実績	—	—	—	—	—																																	

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

人口減少社会において、生涯学習事業の参加者数及び、生涯学習施策推進アンケートの満足度の割合が維持されること。指定管理施設において年2回実施する施設維持管理にかかるモニタリング評価及び、直営施設において予定している予定回数における実績回数が維持されること。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民大学・子ども大学探検隊ともに、昨年度に引き続き5大学すべてで実施することができた。子ども大学探検隊の参加者数が目標に及ばなかったものの、市民大学では目標以上の参加者があり、また、両事業とも高い満足度を得られた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度 取組方針	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行うとともに、指定管理館においては適切な施設運営がなされているかの確認を行う。改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施しており、施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行っていく。	R7年度 方向性	現状維持
--------------	--	-------------	-------------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)	
		現状維持	▶	現状維持	▶	—	▶

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 715			
事務事業名称		市民企画イベント促進事業											
担当部署(R7年度機構)		部: 観光にぎわい部		課: 文化生涯学習課		区分		任意的事業					
基本項目	総合計画	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分		任意的区分			
		施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質		文化・スポーツ			
	市長公約との関係性		所信表明 (R5年9月)		—		市政運営方針		R6年度		R7年度	R8年度	R9年度
	事業期間		事業開始: 2006(H18)年度 ~ 事業終了予定: 未定(継続実施含む)										
	根拠法令等		枚方市市民企画イベント促進事業実施要綱										
	関係附属機関等		該当なし										
	関係補助金等		市民企画イベント促進事業補助金						補助金性質: 事業費補助				
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		市民(団体)が、企画実施した文化芸術事業に多くの市民が参加できている。										
	対象者(受益者)		市内において、文化芸術の振興に資すると認められる事業を実施しようとする者										
	現状・課題		資金不足、広報力の不足、会場確保の確保が困難であるということ。										
	事業の概要		市内において、文化芸術の振興に資すると認められる事業を実施しようとする者に対して、事業に要する経費に対する補助等の支援を行う。										
年間の主な事務		<ul style="list-style-type: none"> ・申請受付(例年3月) ・審査会開催(例年4月) ・実施事業への補助金交付 											

2. 事務事業への投入コスト(インプット)							
人員体制			R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	
	(人)						
	正職員			0.18人	—	—	—
	再任用			0.00人	—	—	—
	任期付職員			0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員			0.00人	—	—	—
	特別職非常勤			0.00人	—	—	—
附属機関委員			0.00人	—	—	—	

		(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
決算額	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	1,384	—	—	—	
			会計年度任用職員	0	—	—	—	
			特別職非常勤	0	—	—	—	
			附属機関委員	0	—	—	—	
			人件費計	1,384	—	—	—	
			物件費計	701	—	—	—	919
		歳出計	2,085	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	—	—	—	0	
		一般財源(物件費充当のみ)	701	—	—	—	919	

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 市民企画イベント促進事業補助金を交付する。	団体	4 団体	— 団体	— 団体	— 団体

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							直接アウトカム(結果による変化・便益)							
ロジックモデル	アウトプット ①	説明	市民の手によって文化芸術の振興につながる事業が実施される。					アウトカム ①	説明	文化芸術事業に多くの市民が参加している。				
		指標	支援決定団体が実施した事業数						指標	各支援事業に対する入場者率				
			R6	R7	R8	R9	単位			R6	R7	R8	R9	単位
		目標	3	3	3	3	事業		目標	70	70	70	70	%
		実績	4	—	—	—	事業		実績	78	—	—	—	%
		算出方法	—						算出方法	支援決定団体が実施する各事業の目標入場数に対する平均入場者率				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

人口減少社会において、支援決定団体が実施した事業数及び、各事業の参加者数が維持されること。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民大学・子ども大学探検隊ともに、昨年度に引き続き5大学すべてで実施することができた。 子ども大学探検隊の参加者数が目標に及ばなかったものの、市民大学では目標以上の参加者があり、また、両事業とも高い満足度を得られた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	応募団体が増加傾向にあることから、これまでの取り組みを継続する。	R7年度方向性	現状維持
----------	----------------------------------	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 721	
事務事業名称		文化芸術事業									
担当部署 (R7年度機構)		部:	観光にぎわい部	課:	文化生涯学習課	区分	任意的事業				
基本項目	総合計画	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	任意的区分			
		施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	文化・スポーツ			
	市長公約との関係性	所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始: 2019(R1)年度				～	事業終了予定: 2023(R5)年度				
	根拠法令等	決裁									
	関係附属機関等	文化芸術振興審議会									
	関係補助金等	該当なし									補助金性質: —
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	枚方市内で文化芸術を鑑賞する機会を求めている市民や文化芸術活動を行っている市民・市民団体等に鑑賞の場や発表の場を提供することにより、市民の文化芸術に対する満足度が向上している									
	対象者(受益者)	枚方市内で文化芸術を鑑賞する機会を求めている市民や文化芸術活動を行っている市民・市民団体等									
	現状・課題	枚方市内で文化芸術の鑑賞機会がない、または発表の場がない									
	事業の概要	総合文化芸術センターなどを活用し、文化芸術に触れるきっかけづくりとなるような魅力的な事業を数多く展開していくことで、文化芸術への興味や関心を育て、文化芸術の裾野を広げることを重点施策としている。									
年間の主な事務	<input type="checkbox"/> 小学校アウトリーチ(通年) <input type="checkbox"/> 中学校オーケストラ鑑賞会(例年2月) <input type="checkbox"/> 枚方ジュニア・ウインド・オーケストラ(通年) <input type="checkbox"/> コミュニケーション授業(通年) <input type="checkbox"/> 美術事業にかかる市主催等事業(2カ月に1度の市所蔵作品展示替業務、主催事業等運営業務等) <input type="checkbox"/> 文化芸術振興審議会運営事務(例年々1回) <input type="checkbox"/> 枚方市美術推進委員協議会運営事務(例年々3回)										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)						
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		1.94人	—	—	—
	再任用		0.00人	—	—	—
	任期付職員		0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0.80人	—	—	—
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—
	附属機関委員		10.00人	—	—	—

決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	14,915	—	—	—	—	—
			会計年度任用職員	3,232	—	—	—	—	—
			特別職非常勤	0	—	—	—	—	—
			附属機関委員	57	—	—	—	—	—
		人件費計	18,204	—	—	—	—	—	
	物件費計	40,251	—	—	—	42,483	94.7%		
	歳出計	58,455	—	—	—	—	—		
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。	
		府支出金	0	—	—	—	0		
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0			
市債		0	—	—	—	0			
その他		5,711	—	—	—	7,690			
歳入計(物件費に充当される特定財源)	5,711	—	—	—	7,690				
一般財源(物件費充当分のみ)	34,540	—	—	—	34,793				

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 小学校アウトリーチの実施校数	校	26 校	一 校	一 校	一 校
② 中学校オーケストラ鑑賞会の公演回数	回	3 回	一 回	一 回	一 回
③ 枚方ジュニア・ウインド・オーケストラの実施回数	回	12 回	一 回	一 回	一 回
④ コミュニケーション授業の実施校数	校	15 校	一 校	一 校	一 校

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロジックモデル	アウトプット①	説明	事業の実施により、身近に文化芸術に触れる機会が作られる。				アウトカム①	説明	文化芸術に対する市民の関心及び理解が深まる。					
		指標	対象事業の参加者数					指標	参加者の満足度					
			R6	R7	R8	R9		単位		R6	R7	R8	R9	単位
		目標	7,500	7,500	7,500	7,500		人	目標	80	80	80	80	%
		実績	7,888	—	—	—		人	実績	96.3	—	—	—	%
算出方法	アウトリーチ・コミュニケーション授業の参加者数、中学校オーケストラ・ジュニアの入場者数の合計					算出方法	【「満足」「概ね満足」「普通」と回答した人数/回答者人数×100 項目:「満足」「普通」「概ね満足」「やや不満」「不満」							

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

人口減少社会において、対象事業の参加者数及び、参加者アンケートの満足度の割合が維持されること。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民大学・子ども大学探検隊ともに、昨年度に引き続き5大学すべてで実施することができた。子ども大学探検隊の参加者数が目標に及ばなかったものの、市民大学では目標以上の参加者があり、また、両事業とも高い満足度を得られた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	総合文化芸術センターの指定管理者が2期目を迎えることを踏まえ、さらなる連携を図り、事業を実施していく。	R7年度方向性	現状維持
----------	---	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 914	
事務事業名称		文化生涯学習課運営事務									
担当部署(R7年度機構)		部:	観光にぎわい部	課:	文化生涯学習課	区分	行政運営事業				
基本項目	総合計画	基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分			
		施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営			
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始: 不明 ~ 事業終了予定: 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	決裁									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし									補助金性質: —
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	事務を滞りなく処理できている。									
	対象者(受益者)	文化生涯学習課職員									
	現状・課題	直営施設と指定管理施設があり、それぞれの管理運営を理解したうえで事務を執行する必要がある。									
	事業の概要	課の運営業務									
年間の主な事務	文化芸術事業全般に関わる事務・庶務事務										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)						
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		2.05人	—	—	—
	再任用		0.00人	—	—	—
	任期付職員		0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—
	附属機関委員		0.00人	—	—	—

決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	15,760	—	—	—	—	—
			会計年度任用職員	0	—	—	—	—	—
			特別職非常勤	0	—	—	—	—	—
			附属機関委員	0	—	—	—	—	—
	人件費計		15,760	—	—	—	—	—	
	物件費計		298	—	—	—	1,153	25.8%	
	歳出計		16,058	—	—	—	—	—	
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。	
		府支出金	0	—	—	—	0		
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0			
市債		0	—	—	—	0			
その他		2	—	—	—	5			
歳入計(物件費に充当される特定財源)		2	—	—	—	5			
一般財源(物件費充当のみ)		296	—	—	—	1,148			

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			—	—	—

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロジックモデル	アウトプット①	説明						アウトカム①	説明						
		指標	R6	R7	R8	R9	単位			R6	R7	R8	R9	単位	
		目標								目標					
		実績								実績					
		算出方法								算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市民大学・子ども大学探検隊ともに、昨年度に引き続き5大学すべてで実施することができた。 子ども大学探検隊の参加者数が目標に及ばなかったものの、市民大学では目標以上の参加者があり、また、両事業とも高い満足度を得られた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	今後も課の運営が円滑に行われるよう、適切に事務を処理していく。	R7年度方向性	現状維持
----------	---------------------------------	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—